データヘルス・ポータルサイトの共同事業検索・閲覧機能

「参加できる共同事業を探したい」「一緒に企画する仲間を探したい」「共同事業の参加者を集めたい」「既存の共同事業を参考にしたい」という健保組合のニーズに応えるために、新たに開発された機能です。ポータルサイト上で共同事業の一覧や概要のほか、各事業への参加条件や問い合わせ窓口の情報も得られますので、ぜひご活用ください。

データヘルス・ポータルサイトの検索画面



 データヘルス・ポータルサイトの「データヘルス計画 書一覧」のページの「共同事業を検索する」ボタンから、 共同事業検索画面にアクセスできます。



3 当該地域で実施されている共同 事業の一覧表を閲覧できます。

> 問合せ窓口 滋賀連合会





🔁 共同事業の実施場所(都道府県)を選択します。



4 詳細な情報を知りたい事業を選ぶと、事業の目的、内容、実施期間、実施体制、問合せ窓口等の情報を閲覧できます。

特定健診・特定保健指導の実施率が上がらない・・・

データ分析のノウハット

健康づくりイベントの

里症化予防対策を実施するための 医療専門スタッフがいない。

こんなことで 困っていませんか?

新たな事業の企画・実施に必要な人的資源や医療専門職、 効果的な外部委託などが活用できる

保健事業の共同実施をご検討ください



実施事例が参考になります

3ページ参照

データヘルス・ ポータルサイトで 共同事業の検索・閲覧 ができます



4ページ参照

保健事業のさらなる推進のために、ご活用ください



健康保険組合における保健事業の共同実施推進ガイド

本書では、「共同事業」の概念や進め方を事例の紹介とともにまとめています。

共同事業とは?

「健保組合が、他の健保組合や協会けんぽ等、他の医療保険者等とともに、保健事業を共同実施すること」とされ、全体に共通する健康課題の例として、がん検診・歯科健診の共同実施事業、女性特有の健康課題に応じた事業、地域の健康課題に応じた地域との共同事業等が挙げられます。

クリック

共同実施により期待できるメリット

事務負担の軽減

複数の健保組合で共通の事務 局を設置したり、共通の外部委 託事業者を活用することで、事 務負担の軽減が期待されます。



共有による 事業運営の効率化

プログラム・ツールの

プログラムやツールを所有する 健保組合との共同実施により、 効率的な事業を進めることが可 能となります。



スケールメリット によるコスト削減

複数の健保組合が共同で委託す ることで、1人当たり単価を安く 抑えることができるなど、コス ト削減が期待されます。



他組合との比較を 通じた自組合の 課題の明確化

自組合の取り組み内容を、他組 合や他社との比較を通じて、自 組合・自社の特徴や課題を知る ことができます。



事業のノウハウ 獲得・共有

先進的な健保組合のノウハウを 得ることができ、より効果的な 事業や、新たな事業の創出が期 待されます。



他組合との協働 による 事業効果の向上

事業主や加入者の事業への参加 意欲が高まり、事業の継続率や 効果向上につながることが期待 されます。



外部リソースの 活用による 事業効果の向上

外部委託事業者や健保連都道府 県連合会の共同設置保健師を活 用することで、効果的な事業の 実施が可能となります。



他保険者との 連携による 事業効果の向上

協会けんぽ、市町村国保等との 連携により、任継・特退被保険者 や被扶養者等に対する事業の実 施が容易となります。



定量的な効果検証 によるPDCA

複数の健保組合共通のデータ分 析により、事業の効果を定量的 に検証でき、事業のPDCAを回 すことが可能となります。



共同実施の例

被扶養者対策

★詳しくは本書66頁を参照してください。

共同実施の成果



保健事業の課題



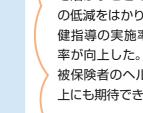
家事・育児等のため健診(検診) を受診できず、自らの健康度合い を知る機会がない被扶養者が多 数存在する。

そのような人を対象として、健診 (検診)受診率およびヘルスリテ ラシーの向上に役立つ事業を実 施したい。

実施内容

複数の健保組合の共同実施によ り、さまざまな地域で利便性の 高い会場を用意。健診(検診)・ 特定保健指導・がん予防等の健 康教育の魅力のあるセット事業 を実施した。







共同実施によるスケールメリット を活かすことで健保組合のコスト の低減をはかり、特定健診・特定保 健指導の実施率、がん検診の受診 率が向上した。被扶養者を通じて 被保険者のヘルスリテラシーの向 上にも期待できる事業となった。

重症化予防

★詳しくは本書107頁を参照してください。



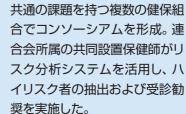
健事業の課題



00

生活習慣病の重症化予防事業で は、健診データの分析等を踏まえ た対象者の抽出や、効果的な受診 勧奨・保健指導の実施が不可欠。 しかし、ノウハウや分析ツール、 専門性を有する職員が在籍する 健保組合は少ない。

実施内容







共同実施の成果



専門職が不在の健保組合でも共同 設置保健師の活用により、健診 データ等の分析方法や対象者の抽 出方法のノウハウを獲得し重症化 予防として新規事業を実施でき た。今後の保健事業の課題設定、 コラボヘルスの推進に寄与した。

■本書では、共同実施の事例として、①特定健診・特定保健指導、②被扶養者対策、③若年者対策、 ④ポピュレーションアプローチ、⑤重症化予防、⑥その他(データヘルス・禁煙対策・歯周病予防) の事業目的別に全14例を掲載しています。

3